

合言葉は「逃げ㊤オル」!

3月11日(日)に

総合避難訓練を実施します!



東日本大震災発生からちょうど1年が経過する3月11日(日)に、総合避難訓練を実施します。

避難訓練にあわせて、避難するときに、近所のポストにタオルが挟まっていないご家庭には、玄関越しに「逃げろ」と声をかける「逃げ㊤オル運動」を行います。

「避難しているのか」「避難していないのか」を一目瞭然で判別するために、郵便ポストに「タオル」を挟んで避難してください。

避難するときはご近所に一言声かけをお願いします。

H24-3/11 (日) 総合避難訓練実施要領 (12/16 南コミ運営委員会)

1. 避難訓練の目的

大型複合災害発生時に、「自分のことは自分で」「地域のことは地域で」守るを基本に、住民相互の人命尊重のため共に支え合う避難訓練を実施する。

被害想定：集中豪雨・床上浸水・土砂災害発生直後に震度6弱の地震発生。

2. 訓練対象者と関連情報の取扱いについて

災害時要援護者・支援者・一般住民の訓練参加希望者を対象とする。

なお災害時要援護者情報の取扱いは、1/11 地域ケア会議で審議され、登録有無情報の開示は承認された。反面障害の種類や程度を把握した援護が必要との指摘があったが、障害情報の入手と伝達方法と活用方法など準備不足もあり、結論には至らず。

3. 平野台区避難訓練行程表 (要約)

期日・時間	想定気象	訓練内容
事前		＊ 避難訓練参加者確認と避難事前アンケート実施 ＊ 避難場所を確認する。 公民館・公園・支援者宅・近所や自宅の安全な場所
3/11 8:15	大雨洪水警報	＊ 青パトで訓練参加 (自主避難とタオル挟み) 呼掛け ＊ 大雨災害発生状況を確認し、地行セにFAX
9:15	床下浸水発生	＊ 自主避難開始。避難目印タオルをポストに挟む タオル挟みなし参加者へ「逃げろ」の声かけ ＊ 避難者の受入れ開始
9:50	床上浸水・土石流発生、避難勧告	＊ 避難継続
10:15	震度6弱地震発生	＊ 地震被害状況を確認し、地行セへFAX 避難継続
10:45	床上浸水家屋続出	＊ 避難継続
11:00	土石流災害発生	＊ 避難困難な世帯は、取敢えず安全な場所に退避
11:30	(雨足が弱まる)	＊ 避難継続
12:00	大雨注意報へ	＊ 組長はタオル挟みなし参加者リストを作成し区へ ＊ 組長は避難者の帰宅可否の調査を行う
12:30	同上解除	＊ 区は避難者帰宅可の報告を受け、地行セへ報告 ＊ 避難者を帰宅させる (支援者は支援する)
15:30	ほぼ全域で復旧	＊ 区は地行セに避難所閉鎖を報告

表中「組長」とは、組長・体育委員・会計係・自主防災班長・福祉推進委員の協力者代表を指す。

4. 平野台区実施スケジュール

- | | |
|---------------------------------------------------------------|--------------|
| ① 地域ケア会議(1/11)・幹事会・組長会 (1/18)・福祉推進委・自主防災会(1/20)で検討し、訓練要領を決める。 | : H24-1月 |
| ② 参加希望者の事前調査実施 (アンケートⅠ) | : H24-2/10まで |
| ③ 訓練本番 | : H24-3/11 |
| ④ 避難訓練の事後調査実施 (アンケートⅡ) | : H24-3/25まで |